

Tableau.TCA-C01.v2024-12-21.q73

試験コード:	TCA-C01
試験名称:	Tableau Certified Architect
認定資格:	Tableau
無料問題数:	73
バージョン:	v2024-12-21
アクセス数:	622
ページビュー数:	730
https://www.jpnpdf.com/Tableau.TCA-C01.v2024-12-21.q73-mondaishu.html	

最新問題: 1

Tableau Server での SAML 認証の問題のトラブルシューティング中に、調査する共通の領域は何ですか？

- A. Tableau Server と SAML プロバイダー間のネットワーク帯域幅と遅延
- B. Tableau Server と SAML ID プロバイダー間の時刻同期
- C. SAML リクエストを処理するための Tableau Server のストレージ容量
- D. Tableau Server にアクセスするために使用する Web ブラウザのバージョン互換性

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server と SAML アイデンティティ プロバイダー間の時間同期 Tableau Server と SAML アイデンティティ プロバイダー間の時間同期の確保は、SAML 認証の問題をトラブルシューティングする際に確認する一般的な重要な側面です。SAML アサーションには時間制約があることが多く、システム時間の不一致によって認証が失敗することがあります。オプション A は不正解です。ネットワーク帯域幅と遅延は全体的なパフォーマンスには重要ですが、SAML 固有の問題の原因となる可能性は低いからです。オプション C は不正解です。Tableau Server のストレージ容量は、通常、SAML 認証要求の処理とは関係ありません。オプション D は不正解です。Web ブラウザーのバージョン互換性は、ユーザーエクスペリエンスには重要ですが、SAML 認証の問題の一般的な原因ではありません。

最新問題: 2

Tableau Server での LDAP 統合の問題をトラブルシューティングする場合、最初に確認する必要がある共通の側面は何ですか？

- A. Tableau Server と LDAP サーバー間のネットワーク速度と遅延
- B. LDAP サーバーのソフトウェアバージョンと Tableau Server の互換性
- C. Tableau Server で設定された LDAP サーバー アドレスとポート番号の正確さ
- D. Tableau Server で認証しようとしているクライアント マシンのファイアウォール設定

Answer: C (メッセージを残す)

Tableau Server で構成されている LDAP サーバー アドレスとポート番号の正確さ LDAP 統合の問題をトラブルシューティングするときに確認する一般的かつ主要な側面は、Tableau Server 構成の LDAP サーバー アドレスとポート番号の正確さです。サーバー アドレスまたはポート構成が正しくないと、接続の失敗や認証の問題につながる可能性があるため、トラブルシューティング プロセスの重要な最初の手順になります。オプション A は、ネットワーク速度と遅延は重要ですが、LDAP 統合の問題で確認する最初の側面ではないため、正しくありません。オプション B は、ソフトウェア バージョンの互換性は重要ではあるものの、通常は初期セットアップ時に検証されるため、突然の統合の問題の原因となる可能性は低いため、正しくありません。オプション D は、クライアント マシンのファイアウォール設定は、サーバー側の LDAP 認証の問題とは関係がないことが多いため、正しくありません。

最新問題: 3

Tableau Server インストール ログを解釈する際に、インストールの失敗を診断する際に注目すべき重要な点は何ですか？

A. インストール時

のユーザーアクセスレベルと権限

B. インストールプロセス中のネットワーク帯域幅と遅延

C. インストール失敗の具体的な性質を示すエラーコードまたはメッセージ

D. インストール中にサーバーにアクセスしたユーザーの数

Answer: C (メッセージを残す)

インストール失敗の具体的な性質を示すエラー コードまたはメッセージ Tableau Server でインストール失敗を診断する場合、インストール ログ内でエラー コードまたはメッセージを探ることが重要です。これらのコードまたはメッセージにより、インストール プロセス中に何が問題であったかについて具体的な洞察が得られ、問題のトラブルシューティングと解決を的確に行うことができます。オプション A は不正解です。ユーザー アクセスレベルと権限は重要ですが、ログからインストール失敗を診断する際の主な焦点ではないのが一般的です。オプション B は不正解です。ネットワーク帯域幅と遅延はインストール ログに詳細が記録される可能性が低く、通常はインストール失敗の主な原因ではありません。オプション D は不正解です。インストール中にサーバーにアクセスするユーザー数はインストール失敗の要因になる可能性は低く、通常はインストール ログに記録されません。

最新問題: 4

Tableau Server で抽出の暗号化を実装する場合、サーバーに保存されているデータ抽出を保護するための重要な手順は何ですか？

A. Tableau Server との間のすべてのデータ抽出転送用の VPN トンネルを構成する

B. Tableau Server の構成設定内でデータ抽出の保存時の暗号化を有効にする

C. 抽出ファイルへのアクセスを監視するネットワーク侵入検知システムの実装

D. 暗号化された抽出に必要な追加スペースに対応するためにサーバーのストレージ容量を増やす

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server の構成設定内でデータ抽出の保存時の暗号化を有効にする Tableau Server の構成内でデータ抽出の保存時の暗号化を有効にすることは、サーバー上に保存されているデータ抽出を保護するために不可欠です。この機能は、サーバー上に保存されている抽出ファイルを暗号化し、特にサーバーのストレージが侵害された場合に、機密データを不正アクセスから保護します。オプション A は不正解です。VPN トンネルを構成すると、サーバー上に保存されている抽出などの保存中のデータではなく、転送中のデータが対象となります。オプション C は不正解です。ネットワーク侵入検知システムは、全体的なセキュリティには重要ですが、データ抽出を直接暗号化するわけではないからです。オプション D は不正解です。ストレージ容量を増やすことは、データ抽出の暗号化やセキュリティに直接貢献しないからです。

最新問題: 5

Tableau Server の災害復旧計画を検証する際に、システム障害が発生した場合にダウンタイムを最小限に抑えるために評価することが重要となる側面は何ですか？

- A. データバックアップの合計サイズ
- B. Tableau Server の異なるバージョンとのバックアップデータの互換性
- C. バックアップ復元プロセスの効率と速度
- D. プライマリサーバーとバックアップサーバー間の物理的な距離

Answer: C (メッセージを残す)

バックアップ復元プロセスの効率と速度 バックアップ復元プロセスの効率と速度は、災害復旧シナリオ中にダウンタイムを最小限に抑えるための重要な要素です。迅速かつ効率的な復元とは、Tableau Server を速やかにオンラインに戻すことができ、業務への影響を軽減できることを意味します。オプション A は不正解です。データ バックアップの合計サイズは、ストレージ要件に影響しますが、復旧中のダウンタイムを直接決定するものではありません。オプション B は不正解です。互換性は重要ですが、災害時の復旧速度に直接影響するものではありません。オプション D は不正解です。サーバー間の物理的な距離は災害復旧計画の特定の側面に影響する可能性がありますが、ダウンタイムを最小限に抑えるための主な要因ではありません。

最新問題: 6

Tableau Server でユーザー アクティビティを監視するためのカスタム管理ビューを作成する場合、ログイン イベントとログアウト イベントを解釈するために Tableau リポジトリ スキーマ内のどのテーブルに注目する必要がありますか？

- A. さまざまなワークブックに対するユーザーの操作を追跡するための「ワークブック」テーブル
- B. どのデータソースがアクセスされているかを監視するための「data_connections」テーブル

- C. ユーザーが行ったWebリクエストを分析するための `http_requests` テーブル
- D. 特定のユーザーのログインとログアウトのアクティビティを追跡するための `historical_events` テーブル

Answer: ([解答を表示する](#))

特定のユーザーのログインとログアウトアクティビティを追跡するための

`historical_events` テーブル Tableau リポジトリスキーマの `historical_events` テーブルは、ユーザーのログインとログアウトアクティビティを監視するのに最も関連しています。このテーブルは、ユーザー認証イベントを含む、Tableau Server のさまざまなイベントを記録します。これは、ユーザーのアクセスパターンを理解し、セキュリティコンプライアンスを確保するための鍵となります。オプション A は不正解です。

`workbooks` テーブルは、ユーザーのログイン/ログアウトアクティビティではなく、ワークブックとのやり取りに重点を置いています。オプション B は、`data_connections` テーブルがユーザー認証イベントではなく、データソース接続を処理するため、正しくありません。

オプション C は正しくありません。`http_requests` テーブルには Web 要求データが含まれていますが、ユーザーのログインおよびログアウトイベントに特に焦点を当てていないためです。

最新問題: 7

Linux 上の Tableau Server の起動に関する問題をトラブルシューティングする場合、問題を特定するために主にどのログを調べる必要がありますか？

- A. Linux システムのカーネルログでハードウェア関連の問題をチェックします
- B. Tableau Server データディレクトリにある Tableau Server ログファイル
- C. Web トラフィック処理に関連する問題を特定するために Web サーバーがログに記録します。
- D. 外部データソースとの接続の問題をチェックするためのネットワークログ

Answer: ([解答を表示する](#))

Tableau Server ログ ファイルは Tableau Server データ ディレクトリにあります。Linux 上の Tableau Server の起動に関する問題のトラブルシューティングには、Tableau Server のデータ ディレクトリにある Tableau Server ログ ファイルが最も関連しています。これらのログには、サーバーの操作に関する詳細な情報が含まれており、起動プロセス中に発生する特定のエラーや問題に関する洞察が得られます。オプション A は不正解です。カーネル ログはハードウェア関連の診断には役立ちますが、Tableau Server の起動に関する問題に関する具体的な情報が含まれる可能性は低いからです。オプション C は不正解です。Web サーバー ログは HTTP トラフィックに重点を置いており、Tableau Server の内部起動プロセスに関する詳細情報を提供しない可能性があるためです。オプション D は不正解です。ネットワーク ログは接続の問題の診断には重要ですが、Tableau Server の起動に関する問題に関する主要な情報源ではないためです。

最新問題: 8

パフォーマンス記録により、外部データベースからのクエリ応答時間が Tableau Server の主なボトルネックになっていることが示されている場合、最初にとるべき行動は何でしょうか？

- A. 処理速度を上げるために外部データベースサーバーをアップグレードする
- B. Tableau ワークブックで使用されるデータベースクエリを見直して最適化し、効率化を図る
- C. Tableau Server にキャッシュメカニズムを実装して、データベースクエリへの依存を減らす
- D. 外部データベースの負荷を軽減するためにデータ抽出のサイズを制限する

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau ワークブックで使用されるデータベースクエリを確認して最適化し、効率性を高めます。パフォーマンス記録によって示されるように、外部データベースからのクエリ応答時間が遅い場合に対処するための最初のアクションは、Tableau ワークブックで使用されるデータベースクエリを確認して最適化することです。クエリの最適化には、クエリの簡素化、クエリされるデータの量の削減、クエリの構造の改善が含まれます。これにより、クエリの実効性が直接解決され、インフラストラクチャの大幅な変更を必要とせずに応答時間が改善される可能性があります。オプション A は不正解です。外部データベースサーバーのアップグレードは、より多くのリソースを消費するソリューションであり、クエリの最適化が不十分な場合にのみ検討する必要があります。

オプション C は不正解です。キャッシュメカニズムを実装すると、いくつかの問題は軽減されるかもしれませんが、クエリパフォーマンスの低下の根本的な原因は解決されません。オプション D は不正解です。データ抽出のサイズを制限しても、必ずしもクエリ自体の効率が向上するわけではないからです。

最新問題: 9

かなりの処理時間を要する複雑なデータ視覚化に主に Tableau Server を使用している企業の場合、どの構成キーを調整する必要がありますか？

- A. 複雑な視覚化の処理時間を長くするために、`gateway.timeout` 値を増やします。
- B. 視覚化レンダリングを高速化するために、`vizqlserver.session.expiry.timeout` の値を減らします。
- C. サーバーの負荷を軽減するために、`backgrounder.extractrefresh` の値を制限します
- D. データの取得を高速化するために、`dataserver.timeout` の値を減らします

Answer: A (メッセージを残す)

`gateway.timeout` 値を増やすと、複雑な視覚化の処理時間が長くなります。

`gateway.timeout` 値を増やすと、サーバーがタイムアウトせずに複雑な視覚化を処理する時間が長くなります。これは、詳細で複雑なデータの視覚化に重点を置く企業にとって不可欠です。オプション B は不正解です。セッションの有効期限のタイムアウトを短くすると、視覚化プロセスが中断される可能性があります。オプション C は不正解です。抽出の更

新頻度を制限しても、複雑な視覚化の処理時間に直接影響はありません。オプション D は不正解です。データ サーバーのタイムアウトを短くすると、特に複雑なクエリの場合、データ取得に十分な時間がなくなる可能性があります。

最新問題: 10

Tableau Server の展開において、ライセンスのないノードを構成する際に考慮すべき重要な点は何ですか？

- A. 集中的なタスクを管理するには、ライセンスのないノードはライセンスのあるノードよりも高い処理能力を持つ必要があります。
- B. 効果的な通信のためには、ライセンスのないノードはライセンスのあるノードと同じ物理的な場所にある必要があります。
- C. ライセンスのないノードが適切にネットワーク化され、ライセンスのあるノードと通信できるように構成されていることを確認します。
- D. ライセンスのないノードには、ライセンスのあるノードとは別のストレージシステムが必要です。

Answer: C (メッセージを残す)

ライセンスのないノードが適切にネットワーク化され、ライセンスのあるノードと通信できるように構成されていることを確認します。ライセンスのないノードを設定するときには、ライセンスのあるノードと通信するための適切なネットワーク化と構成が重要です。これにより、ライセンスのないノードがバックグラウンドタスクを効果的に処理し、結果をメインサーバーに返すことができるようになり、Tableau Server 展開の全体的な効率が維持されます。オプション A は不正解です。ライセンスのないノードの処理能力要件は、ライセンスのあるノードよりも必ずしも高くする必要はありません。これは、割り当てられた特定のタスクによって異なります。オプション B は不正解です。ライセンスのないノードの物理的な場所は、ネットワーク経由でライセンスのあるノードに適切に接続されている限り、重要な要素ではありません。オプション D は不正解です。ライセンスのないノードでは、別のストレージシステムを持つことが主な要件ではなく、主にタスク処理とライセンスのあるノードとの通信を効率的に行うように構成する必要があるためです。

最新問題: 11

Tableau Cloud の自動ユーザープロビジョニングを実装する計画を立てる際、System for Cross-Domain Identity Management (SCIM) を効果的に活用するにはどうすればよいでしょうか？

- A. 組織のアイデンティティ管理システムに変更があるたびに、Tableau Cloud でユーザーロールを手動で更新する
- B. SCIM を組織の ID プロバイダーと統合して、Tableau Cloud でのユーザーアカウントの作成、更新、非アクティブ化のプロセスを自動化します。
- C. 継続的なユーザーアカウント管理ではなく、ユーザーアカウントの定期的な監査にのみ SCIM を使用する

D. SCIM を構成して、ユーザーが Tableau Cloud で直接アカウントをセルフプロビジョニングできるようにします。

Answer: ([解答を表示する](#))

SCIM を組織のアイデンティティ プロバイダーと統合して、Tableau Cloud でのユーザーアカウントの作成、更新、非アクティブ化のプロセスを自動化します。SCIM を組織のアイデンティティ プロバイダーと組み合わせて使用すると、Tableau Cloud でのユーザーアカウント管理を自動化できます。この統合により、組織のアイデンティティ管理システムの変更に基づいてユーザーアカウントを自動的に作成、更新、非アクティブ化できるため、Tableau Cloud でのユーザーアクセスが最新かつ安全な状態に保たれます。オプション A は不正解です。ユーザー ロールを手動で更新することは、SCIM の自動化機能を効率的に使用していないためです。

オプション C は不正解です。SCIM は定期的な監査だけでなく、継続的なユーザーアカウント管理のために設計されています。

オプション D は不正解です。SCIM 統合は通常、管理者または IT 部門によって管理され、ユーザーがアカウントを自己プロビジョニングできるようには管理されないためです。

最新問題: 12

観測可能性データを確認した結果、Tableau Server のデータ抽出更新が営業時間中のパフォーマンスに大きな影響を与えていることがわかりました。この問題に対処するには、どのようなアーキテクチャ変更を行う必要がありますか？

- A. 更新を避けるためにすべてのデータ抽出をライブ接続に移動する
- B. パフォーマンスへの影響を最小限に抑えるために、抽出の更新をオフピーク時にスケジュールする
- C. サーバーのパフォーマンスを向上させるために抽出の更新を完全に無効にする
- D. 抽出の更新を高速化するためにサーバーの CPU をアップグレードする

Answer: ([解答を表示する](#))

パフォーマンスへの影響を最小限に抑えるために、オフピーク時に抽出更新をスケジュールする データ抽出更新によるパフォーマンスへの影響に対応するための効果的なアーキテクチャ調整は、これらの更新をオフピーク時間に再スケジュールすることです。この変更により、サーバー需要が通常高い営業時間中のパフォーマンスへの影響が最小限に抑えられ、サーバー全体のパフォーマンスが向上します。オプション A は不正解です。すべてのデータ抽出をライブ接続に切り替えることは、すべてのデータ ソースで実行可能または望ましいとは限らず、独自のパフォーマンスへの影響が生じる可能性があります。オプション C は不正解です。抽出更新を完全に無効にすると、データの鮮度とユーザーに対する機能が損なわれる可能性があります。オプション D は不正解です。CPU をアップグレードするとパフォーマンスが向上する可能性がありますが、ピーク時のサーバー使用に影響を与える抽出更新という根本的な問題には対処していないためです。

最新問題: 13

Tableau Server で Web データ コネクタ (WDC) を構成する場合、データの精度とセキュリティを維持するために重要な手順は何ですか？

- A. すべての WDC が Tableau Server と同じサーバー上でホストされるように強制する
- B. テストや互換性チェックに関係なく、WDC を最新バージョンに定期的に更新する
- C. WDC がデータソースに安全にアクセスし、データ転送を安全かつ効率的に処理していることを確認する
- D. WDCの使用を社内で開発されたコネクタのみに制限し、サードパーティのコネクタを禁止する

Answer: ([解答を表示する](#))

WDC がデータソースに安全にアクセスし、データ転送を安全かつ効率的に処理していることを確認する Tableau Server で Web データ コネクタを構成する場合、これらのコネクタがデータソースに安全にアクセスし、データ転送を効率的に処理していることを確認することが重要です。これには、データソース接続のセキュリティを検証し、WDC によるデータ処理がデータセキュリティと整合性のベストプラクティスに準拠していることを確認することが含まれます。オプション A は不正解です。すべての WDC を Tableau Server と同じサーバーでホストする必要はないからです。オプション B は不正解です。適切なテストと互換性チェックを行わずに WDC を更新すると、データの正確性やセキュリティに問題が生じる可能性があります。オプション D は不正解です。内部コネクタは一定のセキュリティ保証を提供するかもしれませんが、すべてのサードパーティコネクタを禁止すると、機能とイノベーションが不必要に制限される可能性があるからです。

最新問題: 14

Tableau Server でメタデータ API を構成する場合、API の効果的なパフォーマンスとセキュリティを確保するために重要な手順はどれですか？

- A. 不正アクセスを防ぐために API キーを定期的に変更する
- B. メタデータ API へのリクエスト数を制御するためのレート制限の設定
- C. メインの Tableau Server とは別のサーバーで実行するようにメタデータ API を構成する
- D. 追加の暗号化レイヤーを使用してすべてのメタデータ API レスポンスを暗号化する

Answer: ([解答を表示する](#))

メタデータ API へのリクエスト数を制御するレート制限の設定 メタデータ API のレート制限の設定は、Tableau Server の負荷を管理し、API の不正使用を防ぐために不可欠です。レート制限により、メタデータ API によって処理されるリクエストの数と頻度が制御され、サーバーのパフォーマンスと安定性が維持されます。オプション A は不正解です。API キーを定期的に変更することは、セキュリティ上の優れた実践ではありますが、運用中のメタデータ API のパフォーマンスとセキュリティとは特に関係ありません。オプション C は不正解です。メタデータ API を別のサーバーで実行することは標準要件ではなく、効果的なパフォーマンスに直接寄与しません。オプション D は不正解です。メタデータ API 応答に暗号化レイヤーを追加することは通常不要であり、API はすでに安全なプロトコルの下で動作しているはずなので、不必要な複雑さが増す可能性があります。

最新問題: 15

Linux システムに Tableau Server をインストールすると、サーバーが外部データ ソースと通信できないという問題が発生します。このネットワークの問題をトラブルシューティングするには、まず何を行う必要がありますか？

- A. Tableau Server を再インストールしてネットワーク構成をリセットします
- B. Linux サーバーのファイアウォール設定をチェックして、必要なポートが開いていることを確認します。
- C. Linux サーバーのネットワーク ドライバーをアップグレードする
- D. Tableau Server がすべての外部通信に対してファイアウォールをバイパスするように構成する

Answer: B (メッセージを残す)

Linux サーバーのファイアウォール設定をチェックして、必要なポートが開いていることを確認します。Linux 上の Tableau Server と外部データ ソース間の通信の問題をトラブルシューティングする最初の手順は、Linux サーバーのファイアウォール設定を確認することです。外部通信を正常に行うには、必要なポートが開いていて、Tableau Server との間のトラフィックを許可するように正しく構成されていることを確認することが重要です。オプション A は正しくありません。ネットワーク構成を確認する前に Tableau Server を再インストールするのは過剰な措置です。

オプション C は不正解です。ネットワーク ドライバーのアップグレードは、潜在的に有益ではありますが、ネットワーク通信の問題をトラブルシューティングするための最初の手順ではありません。オプション D は不正解です。ファイアウォールをバイパスするように Tableau Server を構成すると、重大なセキュリティ上の脆弱性が生じる可能性があり、推奨される方法ではありません。

最新問題: 16

Windows システムに Tableau Server をインストール中に、権限エラーが発生します。この問題を解決するには、まず何をすればよいでしょうか？

- A. Windows システムでユーザー アカウント制御 (UAC) を無効にする
- B. Tableau Server インストール ディレクトリのセキュリティ権限の確認と調整
- C. Windows システム上のすべてのユーザー アカウントに管理者権限を付与する
- D. Windows オペレーティング システムを再インストールしてシステム権限をリセットする

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server インストール ディレクトリのセキュリティ権限の確認と調整 Tableau Server を Windows にインストール中に権限エラーが発生した場合、最初に行うべきことは、インストール ディレクトリのセキュリティ権限の確認と調整です。インストールを正常に行うには、インストーラーにディレクトリへの書き込み権限があることを確認することが重要です。オプション A は不正解です。UAC を無効にすることは推奨される方法ではなく、Tableau Server インストール ディレクトリの権限の問題に具体的に対処するもので

はありません。オプション C は不正解です。すべてのユーザーに管理者権限を付与するのは過剰であり、セキュリティ リスクをもたらします。オプション D は不正解です。オペレーティング システムを再インストールすることは、権限の問題を解決するための不必要な極端な手段です。

有効な **TCA-C01** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい TCA-C01 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **TCA-C01** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com TCA-C01 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com TCA-C01 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Tableau/TCA-C01-mondaishu.html> (20230%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

IT リソースが限られている小規模なスタートアップの場合、新しい Tableau Server の展開にはどの ID ストアと認証構成が最も適しているでしょうか？

- A. 将来の拡張性を考慮した複雑な LDAP ベースのシステムの実装
- B. Tableau Server の組み込みローカル ID ストアを使用して、シンプルさと管理のしやすさを実現
- C. コストに関係なく、外部のエンタープライズレベルのアイデンティティプロバイダと統合する
- D. Tableau Server 用に他のシステムとは関係のない別の認証情報をユーザーに要求する

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server の組み込みローカル ID ストアを使用して、シンプルさと管理のしやすさを実現 リソースが限られている小規模なスタートアップ企業の場合、Tableau Server の組み込みローカル ID ストアを使用すると、より高度なシステムの複雑さとコストを回避し、シンプルで管理しやすいソリューションを実現できます。オプション A は不正解です。複雑な LDAP システムは、小規模なスタートアップ企業にとってリソースを大量に消費する可能性があります。オプション C は不正解です。小規模なチームにとって、外部のエンタープライズレベルのプロバイダーとの統合は不要でコストがかかる可能性があります。オプション D は不正解です。個別の認証情報が必要になると、ユーザー管理が非効率になり、ユーザー エクスペリエンスが低下する可能性があります。

最新問題: 18

Linux システムに Tableau Server をインストールしているときに、企業の Web プロキシが原因でサーバーが外部リソースにアクセスできないことに気付きました。Tableau Server がこの Web プロキシを介して通信できるようにするための重要な手順は何ですか？

- A. Tableau Server のインストール期間中、企業の Web プロキシを無効にする

- B. Tableau Server がすべての外部通信で Web プロキシをバイパスするように構成する
- C. Linuxで適切な環境変数を設定してWebプロキシの詳細を指定します
- D. Webプロキシの必要性を回避するためのVPNソリューションの実装

Answer: C (メッセージを残す)

Linux で適切な環境変数を設定して Web プロキシの詳細を指定する Tableau Server が企業の Web プロキシを介して通信できるようにするには、Linux システムで適切な環境変数を設定する必要があります。これらの変数には、Web プロキシのアドレスとポートを含め、Tableau Server が外部通信をプロキシ経由でルーティングできるようにする必要があります。オプション A は不正解です。企業の Web プロキシを無効にすることは、セキュリティ ポリシーにより通常は実行不可能または推奨されません。オプション B は不正解です。Web プロキシをバイパスするように Tableau Server を構成することは、企業のネットワーク ポリシーで許可されていない場合があり、セキュリティ リスクを招く可能性があります。オプション D は不正解です。VPN ソリューションを実装することは、Web プロキシ通信の問題に対処するための過剰な手段であり、企業のネットワーク ポリシーと競合する可能性もあります。

最新問題: 19

Tableau Server 導入のオペレーティング システムとハードウェア関連のメトリクスを収集して分析する戦略を策定する際に、サーバーの安定性とパフォーマンスを確保するために優先すべきことは何ですか？

- A. ハードウェア障害やオペレーティングシステムエラーに対するリアルタイムアラートの設定
- B. Tableau Server のパフォーマンスに影響を与える主な要因であるディスクストレージの最適化に重点を置きます。
- C. 定期的にサーバーを再起動して、最新の動作環境を確保する
- D. 現在のパフォーマンス指標に関係なく、ハードウェアコンポーネントを毎年アップグレードする

Answer: A (メッセージを残す)

ハードウェア障害やオペレーティング システム エラーに関するリアルタイム アラートの設定 ハードウェア障害やオペレーティング システム エラーに関するリアルタイム アラートの設定を優先することは、Tableau Server 環境を監視する戦略において非常に重要です。このプロアクティブなアプローチにより、サーバーの安定性とパフォーマンスに影響を与える可能性のある重大な問題をすぐに認識し、迅速な解決や軽減が可能になります。オプション B は不正解です。ディスクストレージの最適化のみに焦点を当てると、CPU、メモリ、ネットワーク パフォーマンスなどの他の重要なメトリックが無視されるからです。オプション C は不正解です。定期的な再起動は継続的な監視の代わりにはならず、不必要にサービスを中断する可能性があるためです。オプション D は不正解です。ハードウェアのアップグレードは、固定の年間スケジュールではなく、パフォーマンス メトリックとニーズに基づいて行う必要があります。

最新問題: 20

Tableau Server に SSL 暗号化を実装する場合、安全な通信を確保するための重要な手順は何ですか？

- A. セットアップを容易にするために、Tableau Server で自己署名 SSL 証明書を使用するように構成する
- B. 信頼できる証明機関から有効な SSL 証明書を取得してインストールする
- C. SSL との互換性を確保するために、すべての Tableau Server ノードで HTTP を有効にする
- D. SSL通信が中断されないように、すべてのファイアウォールを無効にする

Answer: B (メッセージを残す)

信頼できる証明機関から有効な SSL 証明書を取得してインストールする Tableau Server に SSL 暗号化を実装する上で重要なステップは、信頼できる証明機関から有効な SSL 証明書を取得してインストールすることです。これにより、サーバーとクライアント間の通信が暗号化され、安全になります。信頼できる機関からの証明書を使用すると、サーバーに接続するクライアントの信頼の問題を回避するのにも役立ちます。オプション A は不正解です。自己署名 SSL 証明書はすべてのクライアントに信頼されない可能性があり、セキュリティ警告が表示される場合があります。オプション C は不正解です。HTTP を有効にしても SSL 暗号化には役立たないため、代わりに HTTPS を使用する必要があります。オプション D は不正解です。ファイアウォールを無効にすると、サーバーの全体的なセキュリティが損なわれる可能性があり、SSL 実装には不要です。

最新問題: 21

Tableau Server 展開でライセンスのないノードを構成する場合、このノードが実行できる主な機能は何ですか？

- A. 障害発生時にプライマリサーバーのバックアップとして機能します
- B. ユーザー認証リクエストを処理できます
- C. データ抽出やバックグラウンドジョブなどのタスクに使用できます。
- D. ユーザーリクエストを分散するロードバランサーとして機能します

Answer: B (メッセージを残す)

データ抽出やバックグラウンド ジョブなどのタスクに使用できます。Tableau Server 展開のライセンスのないノードは通常、データ抽出、サブスクリプション タスク、その他のバックグラウンド ジョブなどのバックグラウンド タスクを実行するために使用されます。これにより、ライセンスのあるノードからこれらのタスクの負荷を軽減し、コア サーバー機能のパフォーマンスを向上させることができます。オプション A は不正解です。ライセンスのないノードはライブ サーバー タスクやユーザー操作を処理しないため、プライマリサーバーのバックアップとして機能できません。オプション B は不正解です。ユーザー認証要求は、必要な機能とセキュリティ設定へのアクセス権を持つライセンスのあるノードによって管理されます。オプション D は不正解です。ユーザー要求の負荷分散は、直接的なユーザー操作とデータ処理を伴うため、ライセンスのあるノードを必要とする機能です。

最新問題: 22

Tableau Cloud を使用する組織は、ローカル SQL Server データベースに保存されているデータを使用して、クラウドベースのダッシュボードを定期的に更新する必要があります。最適なデータ更新と統合のためには、どのようなアプローチを取るべきでしょうか？

- A. SQL Server から Tableau Cloud への定期的なデータエクスポートをスケジュールする
- B. Tableau Bridge を実装して、SQL Server データベースからのスケジュールされた更新を容易にします。
- C. すべての SQL Server データを CSV ファイルに変換し、Tableau Cloud に手動でアップロードします。
- D. サードパーティのツールを使用して SQL Server と Tableau Cloud 間でデータを同期する

Answer: ([解答を表示する](#))

Tableau Bridge を実装して、SQL Server データベースからのスケジュールされた更新を容易にします。Tableau Bridge を使用すると、SQL Server などのオンプレミス データベースから Tableau Cloud へのデータ更新をスケジュールできるため、クラウドベースのダッシュボードが最新のデータで定期的に更新されます。オプション A は、データのエクスポートとインポートの手動のプロセスが必要で、エラーが発生しやすいため、不正解です。オプション C は、手動アップロード用にデータを CSV に変換するのは非効率的で、定期的な更新には適していないため、不正解です。オプション D は、Tableau Bridge がこのタスクを直接実行できる場合に、不必要な複雑さが生じるため、不正解です。

最新問題: 23

Tableau を導入する多国籍企業にとって、ライセンスと ATR コンプライアンスに関して最も重要な考慮事項は何ですか？

- A. コストを最小限に抑えるために、利用可能な最も安価なライセンスオプションを選択する
- B. 多国籍企業にとって ATR コンプライアンスは重要ではないため無視する
- C. ユーザーのグローバルな分布に適合し、ATR 要件に準拠したライセンス モデルを選択する
- D. IT 部門の好みのみに基づいてライセンスモデルを選択する

Answer: C ([メッセージを残す](#))

ユーザーのグローバルな分布に適合し、ATR 要件に準拠するライセンス モデルを選択するこの選択により、ライセンス モデルがユーザーの地理的分布に適合し、さまざまな地域にわたる ATR 規制に準拠することが保証されます。これは、多国籍展開にとって重要です。オプション A は不正解です。最も安価なオプションでは、多国籍企業の特定のニーズとコンプライアンス要件を満たさない可能性があります。オプション B は不正解です。特に多国籍の状況では、ATR コンプライアンスは法的および運用上の理由から不可欠です。オプション D は不正解です。ライセンス モデルは、IT 部門の好みだけでなく、より広範な組織のニーズとコンプライアンスに基づく必要があるためです。

最新問題: 24

クラウドとオンプレミスのシステムが混在する組織が Tableau Cloud を導入しています。すべてのシステムでユーザーがシームレスかつ安全にアクセスできる環境を確保したいと考えています。どの認証方法を実装すればよいでしょうか？

- A. Tableau Cloud 内のみのローカル認証
- B. システムと互換性のある外部 ID プロバイダーを使用したシングル サインオン (SSO)
- C. Tableau Cloud とオンプレミス システムの認証を分離
- D. 各セッションのユーザー名とパスワードを手動で入力する

Answer: ([解答を表示する](#))

システムと互換性のある外部 ID プロバイダーを使用したシングル サインオン (SSO) 外部 ID プロバイダーを使用して SSO を実装すると、ユーザーはクラウド システムとオンプレミス システムの両方にシームレスかつ安全にアクセスでき、統一された認証エクスペリエンスが提供されます。オプション A は不正解です。Tableau Cloud のローカル認証ではオンプレミス システムとのシームレスな統合が提供されません。オプション C は不正解です。システムごとに個別の認証を行うと、ユーザー エクスペリエンスが分断され、セキュリティ違反のリスクが高まります。オプション D は不正解です。セッションごとに手動で認証するのは効率が悪く、SSO が提供するセキュリティとアクセスのしやすさが得られません。

最新問題: 25

Windows に Tableau Server をインストールしているときに、システムの現在のソフトウェア構成との競合を示すエラー メッセージが表示されます。最も適切な最初のトラブルシューティング手順は何ですか？

- A. Windows オペレーティング システムを最新バージョンにアップグレードする
- B. 依存関係の互換性のないバージョンや競合するアプリケーションなどのソフトウェアの競合をチェックして解決する
- C. Windows システムをネットワークから切断して外部干渉から隔離する
- D. システムの地域と言語の設定を Tableau の推奨に合わせて変更する

Answer: B ([メッセージを残す](#))

依存関係の互換性のないバージョンや競合するアプリケーションなどのソフトウェアの競合を確認して解決する Windows への Tableau Server のインストール中にソフトウェアの競合に関連するエラーが発生した場合、最初の手順としてこれらの競合を確認して解決する必要があります。これには、依存関係を互換性のあるバージョンに更新したり、システム上の他のアプリケーションとの競合に対処したりすることが含まれる場合があります。オプション A は不正解です。オペレーティング システムのアップグレードは役立つ可能性はありますが、特定のソフトウェアの競合を特定する前に最初に行うべき手順ではありません。オプション C は不正解です。ネットワークから切断しても、システム上のソフトウェアの互換性の問題は解決されないからです。オプション D は不正解です。地域と言語の設定を変更しても、Tableau Server のインストールに影響するソフトウェアの競合は解決されない可能性が高いからです。

最新問題: 26

急速に成長している小売企業が、全国規模の事業に Tableau を導入することを計画しています。Tableau 導入のスケラビリティを確保するために考慮すべき最も重要な要素は何ですか？

- A. システム負荷を制御するためにユーザー数を制限する
- B. 将来の成長を考慮せずに現在のデータ要件のみに焦点を当てる
- C. データ量とユーザー数の増加に合わせて拡張できる展開モデルを選択する
- D. データやユーザー要件の増加に関係なく、単一のサーバーを使用する

Answer: C (メッセージを残す)

データ量とユーザー数の増加に合わせて拡張できる導入モデルを選択する このオプションを選択すると、企業の成長に合わせて Tableau 導入がデータ量の増加とユーザー数の増加に対応できるようになります。これは、急速に拡大するビジネスにとって重要です。オプション A は不正解です。ユーザー数を制限すると、運用効率とビジネスの成長が妨げられる可能性があります。オプション B は不正解です。将来の成長を考慮していないためです。これは、スケラブルで将来性のある導入に不可欠です。オプション D は不正解です。拡大する運用を単一のサーバーに依存すると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります、スケラビリティをサポートしません。

最新問題: 27

Tableau Server の負荷テストに TabJolt を使用する場合、実際の使用状況を効果的にシミュレートするには TabJolt で何を構成することが重要ですか？

- A. TabJoltがシミュレートする同時ユーザーの最大数
- B. TabJoltによってシミュレートされるユーザーの特定のIPアドレス
- C. テスト期間全体を通じて一定の負荷パターン
- D. サーバーの定期メンテナンス期間中のみテストする

Answer: A (メッセージを残す)

TabJolt がシミュレートする同時ユーザーの最大数 同時ユーザーの最大数をシミュレートするように TabJolt を構成することは、効果的な負荷テストを行う上で重要です。この設定により、Tableau Server が高レベルの同時使用をどの程度処理できるかを評価できます。これは、実際のパフォーマンスとキャパシティ プランニングの重要な側面です。オプション B は不正解です。個々のユーザー IP アドレスを指定することは、効果的な負荷テストには必要なく、通常は実際の使用パターンを反映しません。オプション C は不正解です。テスト中に負荷パターンを変えると、一定の負荷パターンよりも包括的な洞察が得られるからです。オプション D は不正解です。テストでは、理想的なのはメンテナンス ウィンドウだけでなく、さまざまなシナリオをカバーして、一般的な動作条件下でサーバーがどのように動作するかを理解する必要があるからです。

最新問題: 28

Windows システムに Tableau Server をインストールする場合、インストール ウィザードを使用してインストールを正常に完了させるために必要な手順はどれですか。

- A. インストール中に Windows システム上のすべてのウイルス対策ソフトウェアとファイアウォール ソフトウェアを無効にする
- B. セットアップに十分な権限があることを確認するために、管理者としてインストール ウィザードを実行します。
- C. Tableau Server のインストール中にすべてのシステム ドライバーを自動的に更新するように Windows を構成する
- D. Tableau Server インストール プロセス専用の仮想マシンの設定

Answer: B (メッセージを残す)

管理者としてインストール ウィザードを実行して、セットアップに十分な権限があることを確認します。Windows に Tableau Server をインストールする場合、管理者としてインストール ウィザードを実行することが重要です。これにより、インストーラーがシステム リソースにアクセスし、Tableau Server を正常にインストールするために必要な設定を構成するために必要な権限を持つようになります。オプション A は正しくありません。ウイルス対策ソフトウェアやファイアウォール ソフトウェアがインストールに干渉することがあるため、最初の手順としてすべてのセキュリティ ソフトウェアを無効にすることは推奨されません。

オプション C は、インストール中にシステム ドライバーを自動的に更新することは Tableau Server をインストールするための標準要件ではないため、正しくありません。オプション D は、専用の仮想マシンをセットアップすることは Tableau Server をインストールするための要件ではないため、正しくありませんが、組織のポリシーに基づいてオプションになる場合があります。

最新問題: 29

Tableau ユーザーを多数抱える組織が、Tableau 環境内でのデータ管理およびガバナンス機能を最適化したいと考えています。この目的に最も適したアドオンはどれですか？

- A. オンプレミスのデータベースへのライブ接続を保証する Tableau Bridge
- B. データの準備とガバナンスを向上させる Tableau データ管理アドオン
- C. ユーザーのモバイル アクセスを強化する Tableau Mobile アプリ ブートキャンプ
- D. データ準備ワークフローを専用に管理する Tableau Prep Conductor

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau データ管理アドオンでデータ準備とガバナンスを強化 Tableau データ管理アドオンは、効果的なデータ準備と強力なデータ ガバナンスのためのツールを提供します。これは、大規模なユーザー ベースを持つ組織がデータの整合性とコンプライアンスを維持するために不可欠です。オプション A は不正解です。Tableau Bridge はライブ データ接続に重点を置いており、データ管理とガバナンスには特に重点が置かれていないためです。オプション C は不正解です。Tableau Mobile App Bootcamp はモバイル アクセスに関するもので、データ ガバナンスに関するものではないためです。オプション D は不正解で

す。Tableau Prep Conductor はデータ管理アドオンの一部ですが、それだけではデータ管理とガバナンスのニーズ全体をカバーできないためです。

最新問題: 30

Tableau Server の接続アプリ認証を構成する際に、統合の安全性と適切な機能を確保するための重要な手順は何ですか？

- A. 接続されたアプリのユーザーごとに Tableau Server で一意のユーザー アカウントを作成する
- B. 接続されたアプリを Tableau Server に登録し、クライアント資格情報 (クライアント ID とシークレット) を取得します。
- C. 接続されたアプリがアクセスするデータ用に Tableau Server に追加のストレージを割り当てる
- D. Tableau Server と接続されたアプリ間の専用 VPN チャンネルの設定

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server で接続アプリを登録し、クライアント認証情報 (クライアント ID とシークレット) を取得する 接続アプリを Tableau Server に登録し、クライアント認証情報を取得することは、安全な統合に不可欠です。これらの認証情報は、Tableau Server でアプリを認証するために使用され、承認されたアプリのみがデータとリソースにアクセスできるようにし、アプリとサーバー間の安全な通信を維持します。オプション A は不正解です。アプリレベルの認証情報に基づく接続アプリの認証では、アプリ ユーザーごとに一意のユーザーアカウントを作成する必要はありません。オプション C は不正解です。Tableau Server で追加のストレージを割り当てることは、接続アプリの認証の構成に直接関係しません。オプション D は不正解です。VPN の設定は、接続アプリの認証を構成するための標準要件ではないためです。

最新問題: 31

マルチノード Tableau Server のアップグレードを計画する際に、ユーザーへの影響を最小限に抑えるために重要な考慮事項は何ですか？

- A. プロセスをできるだけ早く完了するために、すべてのノードを同時にアップグレードします
- B. 問題が発生した場合はすぐに対処できるよう、営業時間中にアップグレードを実行します。
- C. 最初に非プライマリノードを更新し、次にプライマリノードを更新し、最後に残りのノードを更新することでアップグレードを段階的に実行します。
- D. 新しい機能がすぐに利用できるように、まずプライマリノードをアップグレードします

Answer: (解答を表示する)

最初に非プライマリ ノードを更新し、次にプライマリ ノード、残りのノードの順にアップグレードを段階的に行う マルチノード Tableau Server のアップグレードでは、中断を最小限に抑えるためにアップグレード プロセスを段階的に行うことが重要です。これには、最初に非プライマリ ノードをアップグレードしてテストと検証を行い、その後プライマリ

ノード、次に残りのノードの順にアップグレードすることが含まれます。この段階的なアプローチにより、アップグレード プロセス全体を通じてサーバーの安定性と可用性を確保できます。オプション A は不正解です。すべてのノードを同時にアップグレードすると、問題が発生した場合に大幅なダウンタイムが発生する可能性があります。オプション B は不正解です。営業時間中にアップグレードを実行すると、ユーザーと業務が中断する可能性があります。オプション D は不正解です。最初にプライマリ ノードをアップグレードすると、新しい変更やテストされていない変更がサーバーの安定性に影響する場合にリスクが生じる可能性があります。

有効な **TCA-C01** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい TCA-C01 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **TCA-C01** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com TCA-C01 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com TCA-C01 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Tableau/TCA-C01-mondaishu.html> (20230%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

Tableau Server のプライマリ ノードに一貫して高い負荷がかかっていることを示す観測データに基づいて、パフォーマンスを向上させるためにどのアーキテクチャの改訂を検討する必要がありますか？

- A. Tableau Server の別のオペレーティング システムへの切り替え
- B. ワーカーノードを追加して、サーバーアーキテクチャ全体で負荷をより均等に分散します。
- C. Tableau Server がホストされているネットワークの帯域幅を増やす
- D. プライマリノード上のすべてのサーバープロセスを統合して管理を簡素化する

Answer: B (メッセージを残す)

ワーカー ノードを追加して、サーバー アーキテクチャ全体で負荷をより均等に分散します。観測データによって Tableau Server のプライマリ ノードの負荷が一貫して高いことが示されている場合、ワーカー ノードの追加は検討すべき戦略的なアーキテクチャの修正です。このアプローチは、サーバー全体でワークロードをより均等に分散するのに役立ち、パフォーマンスの向上とプライマリ ノードの負荷の軽減につながる可能性があります。オプション A は不正解です。オペレーティング システムを切り替えても、サーバー アーキテクチャ全体の負荷分散の問題に直接対処することはできないからです。オプション C は不正解です。ネットワーク帯域幅を増やすと、データ転送には役立ちますが、サーバーのプライマリ ノードの高負荷の問題は解決されないからです。オプション D は不正解です。すべてのプロセスをプライマリ ノードに統合すると、高負荷の問題が軽減されるどころか悪化する可能性が高いからです。

最新問題: 33

Tableau Server のキャッシュを最適化してダッシュボードのパフォーマンスを向上させる場合、どの設定を調整するのが最も効果的ですか？

- A. ビューが読み込まれるたびにキャッシュを更新して、常に最新のデータが使用されるように設定
- B. データ更新スケジュールに合わせて定期的にスケジュールされた間隔でキャッシュをクリアするように設定する
- C. キャッシュを完全に無効にして、すべてのダッシュボードビューでリアルタイムクエリを強制する
- D. サーバーのRAMを増やして全体的なキャッシュ機能を強化する

Answer: B (メッセージを残す)

データ更新スケジュールに合わせて定期的にスケジュールされた間隔でキャッシュがクリアされるように構成する データ更新スケジュールに合わせて定期的にスケジュールされた間隔で Tableau Server のキャッシュがクリアされるように構成すると、パフォーマンスとデータの鮮度を効果的にバランスさせることができます。このアプローチにより、ユーザーは比較的新しいデータを受け取りながら、キャッシュによるパフォーマンス向上のメリットも享受できます。オプション A は不正解です。ビューがロードされるたびにキャッシュを更新すると、キャッシュによるパフォーマンス上のメリットが打ち消され、サーバーに不要な負荷がかかる可能性があります。オプション C は不正解です。キャッシュを完全に無効にすると、Tableau Server がキャッシュされたデータを活用してパフォーマンスを高速化できなくなるためです。オプション D は不正解です。RAM を増やすとサーバーの容量は向上しますが、ダッシュボードのパフォーマンスに関連するキャッシュ戦略は直接最適化されないためです。

最新問題: 34

データ セキュリティを強化するために Tableau Server で抽出の暗号化を実装する際に重要な手順は何ですか？

- A. 機密情報を含む抽出のみを暗号化し、パフォーマンス上の理由からその他の抽出は暗号化しない
- B. サーバーレベルで抽出の暗号化を有効にして、コンテンツに関係なくすべての抽出が暗号化されるようにします。
- C. Tableau 抽出で使用されるすべてのデータをデータベースレベルの暗号化のみで保護する
- D. Tableau Server にアップロードする前に、サードパーティのソフトウェアを使用して各抽出を手動で暗号化する

Answer: (解答を表示する)

サーバー レベルで抽出の暗号化を有効にして、コンテンツに関係なくすべての抽出が暗号化されるようにする Tableau Server で抽出の暗号化を実装するには、サーバー レベルでの暗号化を有効にする必要があります。これにより、サーバーに保存されているすべての抽出が暗号化され、機密性に関係なくすべてのデータにわたって一貫したセキュリティレ

イヤーが提供されます。このアプローチは、サーバーに保存されている抽出データへの不正アクセスから保護するのに役立ちます。オプション A は不正解です。抽出を選択的に暗号化すると、セキュリティの不整合や潜在的な脆弱性が生じる可能性があります。オプション C は不正解です。データベース レベルの暗号化では、データベースからエクスポートされた抽出は保護されないためです。オプション D は不正解です。各抽出を手動で暗号化するのは非効率的でスケラブルではなく、Tableau Server では抽出用に独自の暗号化メカニズムが提供されているためです。

最新問題: 35

Tableau Server からの観測データを解釈すると、特定の時間帯に CPU 使用率が高くなるパターンがあることに気付きました。この観察結果に基づく最善の対応策は何でしょうか？

- A. サーバーのハードウェアをすぐにアップグレードしてCPU容量を増やす
- B. その時間帯に発生する抽出の更新やサブスクリプションなどのスケジュールされたアクティビティを調査します。
- C. CPU使用率が高い期間にサーバーへのユーザーアクセスを制限する
- D. CPU使用率が時々急上昇するのは正常なので、このパターンは無視してください。

Answer: B (メッセージを残す)

その時間帯に発生する抽出更新やサブスクリプションなどのスケジュールされたアクティビティを調査します。特定の時間帯に CPU 使用率が高いことが観察された場合、最善の初期アクションは、その時間帯に発生する可能性のある抽出更新やレポート サブスクリプションなどのスケジュールされたサーバー アクティビティを調査することです。

CPU スパイクの原因を理解することで、これらのアクティビティを再スケジュールしたり、リソースをより効率的に使用するために最適化したりするなど、よりの絞ったアクションを講じることができます。オプション A は不正解です。ハードウェアのアップグレードは、現在のセットアップ内で CPU 使用率が高くなる原因を評価して対処した後にのみ検討する必要があります。オプション C は不正解です。ユーザー アクセスを制限することは、CPU 使用率が高くなる根本的な原因に対処しない事後的な対策です。オプション D は不正解です。パターンを無視すると、サーバーの安定性やユーザー エクスペリエンスに影響を与える可能性のあるパフォーマンスの問題を見落とす可能性があります。

最新問題: 36

ある企業では、Tableau 環境で複雑なデータ処理タスクに対する需要が高まっています。パフォーマンスを最適化するために、いつ外部サービスの利用を検討すべきでしょうか？

- A. Tableau Server の負荷を軽減するための基本的なデータ視覚化タスクのみ
- B. リソースを大量に消費する複雑なデータブレンディングや分析タスク向け
- C. Tableau Server では外部サービスを使用しないでください
- D. 複雑さに関係なく、すべてのデータ処理タスクに外部サービスを使用する

Answer: B (メッセージを残す)

リソースを大量に消費する複雑なデータ ブレンディングおよび分析タスクの場合、データブレンディングや分析などの複雑でリソースを大量に消費するタスクに外部サービスを利

用すると、これらの負荷の高いプロセスの負荷を軽減して Tableau 環境のパフォーマンスを最適化するのに役立ちます。オプション A は不正解です。基本的なデータ視覚化タスクは通常、Tableau Server 自体で適切に処理されます。オプション C は不正解です。外部サービスは、リソースを大量に消費する特定のタスクに有効です。オプション D は不正解です。複雑さに関係なく、すべてのタスクに外部サービスを使用することは非効率的で不必要な場合があります。

最新問題: 37

多数の Tableau ダッシュボードを移行する際に、スムーズな移行を実現するために Tableau コンテンツ移行ツールに不可欠な機能は何ですか？

- A. 移行中にダッシュボードを圧縮してファイルサイズを縮小するツールの機能
- B. 複数のダッシュボードをバッチ処理して一括移行を処理する能力
- C. 移行前にダッシュボードをさまざまな形式に変換する機能
- D. 新しいサーバーのレイアウトに合わせてダッシュボードを自動的に再設計する機能

Answer: B (メッセージを残す)

複数のダッシュボードのバッチ処理による一括移行を処理する能力 バッチ処理による一括移行を処理する能力は、多数のダッシュボードを効率的に移行し、時間を節約し、エラーの可能性を減らすために不可欠です。オプション A は不正解です。圧縮は通常、ダッシュボードの移行中に主な懸念事項ではないためです。オプション C は不正解です。ダッシュボードを異なる形式に変換することは、サーバー移行の通常要件ではないためです。オプション D は不正解です。自動再設計は移行ツールに必要な機能ではないためです。元の設計と機能を維持することに重点を置く必要があります。

最新問題: 38

Tableau Server での負荷テスト用に TabJolt を構成する場合、正確で効果的なテスト結果を確保するために不可欠な手順は何ですか？

- A. Tableau Server と同じマシンに TabJolt をインストールしてネットワーク遅延を最小限に抑える
- B. 典型的なユーザー行動を代表するさまざまなアクションとダッシュボードをテストするために TabJolt を設定する
- C. 最大限のストレステストを行うために、最もリソースを消費するダッシュボードのみをテストするように TabJolt を構成する
- D. 実際のユーザーへの影響を避けるために、Tableau Server のアクティビティが少ない期間に TabJolt テストを制限します。

Answer: B (メッセージを残す)

一般的なユーザー行動の代表となるさまざまなアクションとダッシュボードをテストするように TabJolt を設定する 正確で効果的な負荷テストを行うには、一般的なユーザー行動の代表となるさまざまなアクションとダッシュボードをテストするように TabJolt を構成することが重要です。これにより、テスト シナリオが実際の使用パターンを厳密に模倣し、さまざまな負荷下でのサーバーのパフォーマンスに関する信頼性の高い分析情報が得られ

ます。オプション A は不正解です。Tableau Server と同じマシンに TabJolt をインストールすると、リソースの競合により結果が歪む可能性があります。オプション C は不正解です。最もリソースを消費するダッシュボードのみに焦点を当てると、サーバーのパフォーマンスを包括的に把握できません。オプション D は不正解です。アクティビティの少ない期間にテストを制限すると、通常またはピーク時の運用状況でのサーバーのパフォーマンスが正確に反映されない可能性があります。

最新問題: 39

マルチノード Tableau Server 展開でデータベース接続の問題が発生した場合、根本原因を特定するのに最も効果的なアプローチはどれですか？

- A. より信頼性の高い接続を確保するために、ネットワークスイッチとルーターを直ちに交換する
- B. Tableau Server とデータベース サーバーの両方のサーバー ログを分析して、エラーパターンや接続障害を特定します。
- C. 負荷と潜在的な接続の問題を軽減するために、データベース サーバーへのアクセスを少数の選択されたノードのみに制限します。
- D. サーバー固有の接続問題の可能性を排除するために、すべてのデータを新しいデータベースサーバーに移行します。

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server とデータベース サーバーの両方でサーバー ログを分析して、エラーパターンや接続障害を特定する マルチノード Tableau Server 展開でデータベース接続の問題の根本原因を効果的に特定するには、Tableau Server ノードとデータベース サーバーの両方でサーバー ログを分析することが重要です。このアプローチにより、特定のエラーメッセージ、パターン、または接続障害を特定できるため、問題をより深く理解し、的を絞ったソリューションを導くことができます。オプション A は不正解です。接続の問題の正確な原因を特定せずにネットワーク ハードウェアを直ちに交換するのは時期尚早です。オプション C は不正解です。データベース サーバーへのアクセスを制限しても、接続の問題の根本的な原因に対処できず、機能が制限される可能性があります。オプション D は不正解です。新しいデータベース サーバーへの移行は大がかりな作業であり、他のトラブルシューティング手順をすべて試した後の最後の手段にすべきです。

最新問題: 40

Linux 上の Tableau Server を構成して、通知のために外部の電子メール サーバーとやり取りすると、電子メールの配信に関する問題が発生します。この問題を解決するために最初に確認すべきことは何ですか？

- A. Tableau Server のメールの内容と書式設定
- B. Tableau Server の SMTP 構成設定 (サーバー アドレスとポートを含む)
- C. メールサーバーを Tableau Server と互換性のあるバージョンにアップグレードする
- D. Tableau Server のオペレーティング システムを、メール サーバーとより互換性のあるものに変更する

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server の SMTP 構成設定 (サーバー アドレスとポートを含む) Tableau Server から外部のメール サーバーへのメール配信に関する問題を解決する最初の手順は、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) 構成設定を確認することです。これには、メール サーバーのアドレス、ポート、および必要な認証の詳細の確認が含まれます。SMTP 設定が正しくないことが、メール配信の問題の一般的な原因です。

オプション A は不正解です。メールの内容やフォーマットの問題がメール配信自体に影響する可能性は低いからです。オプション C は不正解です。メール サーバーのアップグレードは最初のステップではなく、問題が SMTP 設定に関連している場合は必要ない可能性があります。オプション D は不正解です。Tableau Server のオペレーティング システムを変更するのは過剰な措置であり、メール配信の問題を解決する可能性は低いからです。

最新問題: 41

Tableau Server のブルーグリーン展開シナリオにおいて、2 つの同一環境を維持する主な目的は何ですか？

- A. 1つを開発用に、もう1つを本番用に使用する
- B. 異なるユーザーグループでA/Bテストを有効にする
- C. アップグレードやメンテナンス中にシームレスなユーザーエクスペリエンスを提供する
- D. 2つのサーバー間でワークロードを均等に分割する

Answer: C (メッセージを残す)

アップグレードまたはメンテナンス中にシームレスなユーザー エクスペリエンスを提供するため ブルーグリーン展開で 2 つの同一環境を維持する主な目的は、アップグレードまたはメンテナンス中にシームレスなユーザー エクスペリエンスを確保することです。このアプローチにより、一方の環境 (ブルー) をアクティブにしながら、もう一方の環境 (グリーン) を更新またはメンテナンスできます。その後、ユーザーは最小限の中断で更新された環境に切り替えられます。オプション A は不正解です。開発用に 1 つの環境を使用し、もう一方の環境を本番環境に使用することは、更新中のシームレスな移行に重点を置くブルーグリーン展開の主な目的ではないためです。オプション B は不正解です。A/B テストはブルーグリーン展開の主な目的ではなく、ダウンタイムを最小限に抑え、サービスの継続性を確保することに重点を置いているためです。オプション D は不正解です。サーバー間でワークロードを分割することがこの戦略の基本的な目的ではなく、すぐに使用できる更新された環境を用意することが目的であるためです。

最新問題: 42

Windows システムへの Tableau Server のインストールを確認する際、ファイル システムの権限が正しく構成されていることを確認するために確認すべき重要なことは何ですか？

- A. Tableau Server がインストールされているドライブの空きディスク容量
- B. Tableau Server が他のシステムと通信できるようにするためのネットワーク設定
- C. Tableau Serverのデータおよびログディレクトリのセキュリティ権限

D. Tableau Server インストールドライブで使用されるファイル システムのバージョン

Answer: C (メッセージを残す)

Tableau Server のデータおよびログ ディレクトリのセキュリティ権限 Windows に Tableau Server をインストールした後、Tableau Server のデータおよびログ ディレクトリのセキュリティ権限を確認することが重要です。

Tableau Server がアクセス関連のエラーに遭遇することなく、ファイルにアクセスして効率的に管理できるようにするには、適切な権限が必要です。オプション A は不正解です。空きディスク容量は操作には重要ですが、ファイル システムに設定されている権限には影響しません。オプション B は不正解です。ネットワーク設定は接続には重要ですが、Tableau Server ディレクトリのファイル システム権限とは関係ありません。オプション D は不正解です。ファイル システムのバージョンは全体的な互換性には重要ですが、Tableau Server ディレクトリに設定されている権限には直接影響しません。

最新問題: 43

Tableau Server の負荷テストの結果、ピーク負荷時でも CPU とメモリ リソースの使用率が一貫して低いことが示された場合、次の手順は何でしょうか？

- A. 後続のテストで負荷をさらに増加させて、サーバーの実際のパフォーマンス限界を見つけます。
- B. サーバーのハードウェアをすぐにスケールダウンして運用コストを削減します
- C. パフォーマンス最適化の主要要素として、ネットワーク帯域幅とレイテンシのテストに重点を置く
- D. リソース使用率が低いということは、サーバーのパフォーマンスが最適であることを示すため、これ以上の負荷テストを停止します。

Answer: A (メッセージを残す)

後続のテストで負荷をさらに増やして、サーバーの実際のパフォーマンスの限界を見つけます。負荷テストで、ピーク負荷時の CPU およびメモリ リソースの使用率が低いことがわかった場合、次のステップは、後続のテストで負荷を増やすことです。これにより、サーバーのパフォーマンスの実際の限界を特定し、サーバーが実際の高負荷シナリオに対して適切にテストされていることを確認できます。オプション B は正しくありません。ハードウェアを時期尚早にスケールダウンすると、予期しない使用量の急増や将来の成長に対応できない可能性があるためです。

オプション C は不正解です。サーバーの容量制限を完全に理解せずにネットワーク要因のみに焦点を当てると、他のパフォーマンス改善領域を見落とす可能性があります。オプション D は不正解です。初期のリソース使用率が低いことを理由にそれ以上のテストを中止すると、サーバーの実際のパフォーマンス能力を完全に理解できない可能性があります。

最新問題: 44

Tableau Server の全体的な健全性を監視するように設計された管理ダッシュボードでは、どの主要な指標を目立つように表示する必要がありますか？

- A. ユーザーが毎日作成したビューの合計数
- B. サーバー上のダッシュボードとビューの平均読み込み時間
- C. サーバー上のユーザーのログインとログアウトの頻度
- D. サーバー上で発生した抽出更新の失敗の数

Answer: ([解答を表示する](#))

サーバー上のダッシュボードとビューの平均読み込み時間 Tableau Server の健全性に焦点を当てた管理ダッシュボードでは、ダッシュボードとビューの平均読み込み時間を示すことが重要です。この指標は、サーバーのパフォーマンスとユーザー エクスペリエンスを直接示します。最適なサーバー健全性を維持するために対処する必要がある速度または効率の問題があるかどうかを特定するのに役立ちます。オプション A は、作成されたビューの合計数がサーバー健全性を直接示すわけではないため、不正解です。オプション C は、ユーザーのログインとログアウトの頻度は重要ですが、サーバーのパフォーマンスを直接反映するものではないため、不正解です。オプション D は、抽出更新の失敗は重要ですが、平均読み込み時間のようにサーバーの健全性の包括的な概要を提供しないため、不正解です。

最新問題: 45

Tableau の使用量が中程度の中規模組織の場合、パフォーマンスとリソース使用率のバランスをとるために、サービスとノードの関係をどのように構築すればよいでしょうか。

- A. ハードウェアコストを最小限に抑えるために、すべてのサービスを単一のノードに配置する
- B. リソース使用率への影響に関係なく、各サービスを別々のノードに分離する
- C. 使用パターンとワークロードの互換性に基づいてサービスを戦略的に配置する
- D. 負荷を均等に分散するためにサービスをノードにランダムに割り当てる

Answer: C ([メッセージを残す](#))

使用パターンとワークロードの互換性に基づいてサービスを戦略的に併置する 使用パターンとワークロードの互換性に基づいてサービスを戦略的に併置すると、中規模組織のパフォーマンスとリソース使用率を最適化し、コストと効率のバランスをとることができます。オプション A は、すべてのサービスを 1 つのノードに併置しても、最適なパフォーマンス バランスが得られない可能性があるため、正しくありません。オプション B は、各サービスを分離すると、不要なリソース使用とコストの増加につながる可能性があるため、正しくありません。オプション D は、ランダムな分散では、負荷とリソースの効率的または効果的なバランスが保証されないため、正しくありません。

最新問題: 46

Tableau Server 環境の保守と調整の観点では、Tableau Server リソース監視ツールはサーバーのワークロード管理にどのように役立ちますか？

- A. さまざまなダッシュボードとレポートを使用して、ユーザーのインタラクションパターンの詳細な分析を提供することにより
- B. 過去のサーバーワークロードの傾向を視覚化して容量調整を計画することで
- C. 現在のワークロードに基づいてサーバー設定を自動的に調整し、パフォーマンスを最適化します
- D. 外部データソースのパフォーマンスを監視し、データ接続を最適化することで

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server リソース監視ツールは、過去のサーバーワークロードの傾向を視覚化して容量調整を計画することで、サーバーワークロードの管理を支援します。この機能により、管理者はさまざまな負荷下での過去のサーバーパフォーマンスを分析できるため、将来のワークロードを効率的に処理するための容量計画と調整について十分な情報に基づいた決定を下すことができます。オプション A は不正解です。このツールは、ユーザー操作の詳細な分析ではなく、サーバーリソースとワークロードの傾向に重点を置いているためです。オプション C は不正解です。このツールは分析用のデータを提供しますが、サーバー設定を自動的に調整しないためです。オプション D は不正解です。このツールは、外部データソースのパフォーマンスやデータ接続を直接監視するのではなく、サーバーリソースとワークロードを監視することに重点を置いているためです。

有効な **TCA-C01** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい TCA-C01 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **TCA-C01** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com TCA-C01 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com TCA-C01 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Tableau/TCA-C01-mondaishu.html> (20230%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

Tableau Server での OpenID Connect 統合の問題のトラブルシューティング中に、どのような共通要素を調べる必要がありますか？

- A. Tableau Server 上のユーザートークンをキャッシュするためのストレージ容量
- B. Tableau Serverの負荷分散構成
- C. Tableau Server 上の SSL 証明書の暗号化強度
- D. OpenID ConnectプロバイダーとTableau Server構成で指定されたリダイレクトURI

Answer: D (メッセージを残す)

最新問題: 48

リバース プロキシの背後にある Linux システムで Tableau Server を構成しましたが、ユーザーが断続的にアクセスの問題が発生しています。これらのプロキシ関連の問題をトラブルシューティングするための最初の手順は何でしょうか？

- A. サーバーのインターネット接続の帯域幅を増やす
- B. URL書き換えやポート転送ルールを含むリバースプロキシの構成設定を確認する
- C. リバースプロキシソフトウェアを別のプロバイダーに変更する
- D. Tableau Server に新しい SSL 証明書を直接インストールする

Answer: B (メッセージを残す)

URL 書き換えやポート転送ルールなどのリバース プロキシの構成設定を確認する リバース プロキシの背後に構成された Tableau Server でアクセスの問題が発生した場合、最初の手順はプロキシの構成設定を確認することです。これには、URL 書き換えルールとポート転送設定をチェックして、Tableau Server との間のトラフィックが正しくルーティングされていることを確認することが含まれます。これらの設定が誤っていると、断続的なアクセスの問題が発生することがあります。オプション A は不正解です。帯域幅を増やしても、プロキシ構成に特有の問題は解決しない可能性が高いからです。オプション C は不正解です。プロキシ ソフトウェア プロバイダーの変更はトラブルシューティングの最初の手順ではなく、問題の根本原因に対処できない可能性があります。オプション D は不正解です。Tableau Server に新しい SSL 証明書をインストールすることは、セキュリティ上は重要ですが、プロキシ構成の問題に直接対処するものではないからです。

最新問題: 49

Tableau Server での信頼できる認証の問題のトラブルシューティングにおいて、調べるべき共通の要素は何ですか？

- A. Tableau Serverとサードパーティアプリケーションで使用されるデータ暗号化方式
- B. Tableau Serverとサードパーティアプリケーションの両方におけるSSL証明書の有効性
- C. Tableau Serverとサードパーティアプリケーション間のシステムクロックの同期
- D. Tableau Serverとサードパーティアプリケーション間のネットワーク遅延

Answer: C (メッセージを残す)

Tableau Server とサードパーティ アプリケーション間のシステム クロックの同期 信頼できる認証でよくある問題は、Tableau Server とサードパーティ アプリケーション間のシステム クロックの同期が取れていないことです。信頼できる認証では時間に敏感なトークンが使用されることが多いため、システム時間の不一致により認証が失敗することがあります。同期されたクロックを確保することは、信頼できる認証がスムーズに機能するために不可欠です。オプション A は不正解です。データ暗号化は重要ですが、信頼できる認証固有の問題の原因となることは通常ありません。オプション B は不正解です。SSL 証明書の有効性は安全な接続には重要ですが、信頼できる認証の問題の直接的な原因となることは通常ありません。オプション D は不正解です。ネットワーク遅延は全体的なパフォーマンスに影響しますが、信頼できる認証の機能には通常影響しません。

最新問題: 50

Tableau Cloud を実装した後、小売企業は特定のダッシュボードが最新の売上データで更新されていないことに気付きました。最も効果的なトラブルシューティング手順は何ですか？

- A. 影響を受けるすべてのダッシュボードを最初から再構築します。
- B. 影響を受けるダッシュボードのデータ ソース接続と更新スケジュールを確認しています。
- C. オンプレミスの Tableau Server にすぐに移行します。
- D. システムの負荷を軽減するためにダッシュボードへのユーザー アクセスを制限します。

Answer: B (メッセージを残す)

影響を受けるダッシュボードのデータ ソース接続と更新スケジュールを確認する この手順では、ダッシュボードがデータ ソースに適切に接続され、更新スケジュールが正しく構成されていることを確認することで、潜在的な問題に直接対処します。オプション A は、ダッシュボードの再構築には時間がかかり、データ更新の根本的な問題に対処できない可能性があるため、正しくありません。オプション C は、オンプレミス サーバーに移行することは、データ更新の問題を直接解決しない抜本的な手順であるため、正しくありません。オプション D は、ユーザー アクセスを制限しても、ダッシュボードでデータが更新されない問題は解決されないため、正しくありません。

最新問題: 51

Tableau Server のパフォーマンスの問題を効果的に分析するには、サーバー ログの収集と分析にどのような戦略を採用する必要がありますか？

- A. ディスク容量を節約するために、重大なエラーが発生した場合にのみログを保存するように Tableau Server を構成します。
- B. Tableau の組み込みログ管理ツールを活用して、報告された問題の発生時刻を中心に、定期的にログを収集して確認します。
- C. 毎日の終わりにサーバーからログを手動で収集し、毎日確認します。
- D. ログ収集と分析専用のサードパーティソフトウェアに依存して外部の視点を提供する

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau の組み込みログ管理ツールを使用して、問題が報告された時間に焦点を当てて、定期的にログを収集して確認します。パフォーマンスの問題を分析するための最も効果的な戦略は、Tableau の組み込みログ管理ツールを使用して定期的なログの収集と分析を行うことです。このアプローチにより、管理者は、特に問題が報告された期間に焦点を当てて、ログを体系的に確認できます。定期的かつ集中的な分析は、パフォーマンスの問題をより効率的に特定して解決するのに役立ちます。オプション A は不正解です。重大なエラーが発生したときにのみログを保存すると、包括的なパフォーマンス分析に必要な貴重な情報が省略される可能性があります。オプション C は不正解です。毎日手動でログを収集するのは非効率的であり、関連データをリアルタイムで取得できない可能性があります。オプション D は不正解です。サードパーティのツールは便利ですが、それらだけに依存すると、Tableau の組み込みログ管理ツールの特定の機能と統合を見逃す可能性があります。

最新問題: 52

ある会社が Tableau ワークブックとデータ ソースをあるサーバーから別のサーバーに移行しています。このプロセスで最も重要な Tableau コンテンツ移行ツールの機能はどれですか。

- A. 移行中にワークブックのビジュアルデザインを変更する機能
- B. 移行中にワークブック内のデータソース接続を自動的に更新する機能
- C. より適切に制御するために、各ワークブックを個別に手動で移行するオプション
- D. 最近アクセスしたワークブックのみを移行する機能

Answer: B (メッセージを残す)

移行中にワークブック内のデータ ソース接続を自動的に更新する機能 データ ソース接続を自動的に更新することは、移行後にワークブックが正しく機能し、データの整合性と継続性を維持するために不可欠です。オプション A は不正解です。ビジュアル デザインの変更は移行ツールの主な機能ではないためです。オプション C は不正解です。各ワークブックを手動で移行すると時間がかかり、エラーが発生しやすくなります。オプション D は不正解です。最近アクセスしたワークブックだけでなく、必要なすべてのワークブックを移行することが重要だからです。

最新問題: 53

Tableau Server の負荷テストのテスト計画を設計する際に、テスト結果の妥当性を確保するために考慮すべき重要な要素は何ですか？

- A. サーバーのピーク使用時間中にのみテストを実行し、最大ストレス下でのパフォーマンスを評価する
- B. テスト中に負荷を徐々に増加させて、サーバーが増大する要求にどのように応答するかを観察します。
- C. テスト変数の一貫性と制御を維持するために合成テストデータのみを使用する
- D. サーバーの最新機能にテストを集中し、パフォーマンスへの影響を評価する

Answer: B (メッセージを残す)

テスト中に負荷を徐々に増やして、増大する要求にサーバーがどのように応答するかを観察します。Tableau Server の負荷テストのテスト計画を設計する際の重要な要素は、負荷を徐々に増やすことです。この方法により、サーバーのパフォーマンスが要求の増加に伴ってどのように拡張されるかを観察できるため、サーバーの容量と潜在的なボトルネックに関する貴重な洞察が得られます。これは、サーバーの復元力と、増加するユーザー アクティビティを処理する能力を理解するのに役立ちます。オプション A は不正解です。ピーク時間帯のみのテストでは、さまざまな負荷条件下でのサーバーのパフォーマンスの全体像が得られない可能性があります。オプション C は不正解です。合成テスト データのみに依存すると、実際のユーザー操作とデータの複雑さを正確にシミュレートできない可能性があります。オプション D は不正解です。最新の機能のみに焦点を当てると、サーバーがコア機能とより頻繁に使用される機能でどのように機能するかを見落とす可能性があります。

最新問題: 54

大規模な金融機関では、Tableau Server の導入に高いレベルのセキュリティとパフォーマンスを求めています。このシナリオでは、サービスとノードの関係をどのように構成すればよいでしょうか。

- A. セキュリティとパフォーマンスを最大限に高めるために、すべてのサービスを個々のノードに分離する
- B. シンプルさと管理の容易さのために、すべてのサービスを単一のノードに配置する
- C. データサーバーやリポジトリなどの重要なサービスを別のノードに分離し、それほど重要でないサービスを同じノードに配置する
- D. 特定の戦略なしにノード間でサービスをランダムに分散する

Answer: C (メッセージを残す)

データサーバーやリポジトリなどの重要なサービスを別のノードに分離し、それほど重要でないサービスを併置する。重要なサービスを分離すると、特に金融機関ではセキュリティとパフォーマンスが向上し、それほど重要でないサービスを併置すると、リソースの使用と管理を最適化できます。オプション A は不正解です。すべてのサービスを分離すると、リソースが十分に活用されず、複雑さが増す可能性があります。オプション B は不正解です。すべてのサービスを 1 つのノードに併置すると、単一障害点とパフォーマンスのボトルネックが生じる可能性があります。オプション D は不正解です。効率的で安全なサービスとノードの関係には、戦略的なアプローチが必要です。

最新問題: 55

Tableau Server を Active Directory ベースの ID ストアから LDAP ベースのシステムに移行する計画を立てる際に、ユーザー アクセスとセキュリティを維持するために主に何を重視すべきでしょうか。

- A. Active Directory から LDAP にユーザーパスワードを直接移行する
- B. ユーザーの役割と権限が新しいLDAPシステムに正確にマッピングされ、転送されていることを確認する
- C. カスタム設定なしでLDAPのデフォルト設定に依存する
- D. テストなしで最短時間で移行を完了する

Answer: B (メッセージを残す)

ユーザー ロールと権限が新しい LDAP システムに正確にマッピングされ、転送されていることを確認します。ユーザー ロールと権限の正確なマッピングと転送は、新しい LDAP システムでアクセス制御とセキュリティを維持し、シームレスなユーザー エクスペリエンスとデータ保護を保証するために重要です。オプション A は不正解です。セキュリティ プロトコルのため、通常、ユーザー パスワードを直接移行することはできません。オプション C は不正解です。組織の特定のニーズを満たすために、LDAP 構成をカスタマイズする必要がある場合があります。

オプション D は不正解です。十分なテストを行わずに急いで移行すると、重大なセキュリティとアクセスの問題が発生する可能性があるためです。

最新問題: 56

Tableau Server の問題をトラブルシューティングするときは、インストール ログを見つけて解釈する必要があります。これらのログは通常どこにあり、主にどのような情報を提供しますか？

- A. データベースサーバーで、データベースクエリに関する情報を提供する
- B. Tableau Server データディレクトリで、ユーザーインタラクションの詳細を提供します
- C. Tableau Server ログ ディレクトリにインストール プロセスとエラーの詳細が含まれます
- D. オペレーティングシステムのイベントビューアで、システムレベルのイベントを表示します

Answer: C (メッセージを残す)

Tableau Server ログ ディレクトリには、インストール プロセスとエラーに関する詳細が含まれています。Tableau Server のインストール ログは、通常、Tableau Server ログ ディレクトリにあります。これらのログには、発生した可能性のあるエラーや問題など、インストール プロセスに関する詳細情報が記録されます。これは、インストール関連の問題のトラブルシューティングに不可欠です。オプション A は不正解です。データベース サーバー ログはデータベース クエリに重点を置いており、Tableau Server のインストール プロセスに関する詳細情報は提供されません。

オプション B は不正解です。データ ディレクトリには、インストール ログではなく、主にユーザー操作に関連するデータが含まれています。オプション D は不正解です。オペレーティング システムのイベント ビューアはシステム レベルのイベントをキャプチャしますが、Tableau Server のインストール プロセスに固有の詳細情報は提供されない可能性があります。

最新問題: 57

マルチノード Tableau Server 環境で、断続的にデータベース接続の問題が発生しています。

この問題をトラブルシューティングするための最初のステップは何でしょうか？

- A. Tableau Server 環境のワーカーノードの数を増やして全体的な接続性を向上させる
- B. Tableau Server ノードとデータベース サーバー間のネットワーク構成とファイアウォールをチェックして、接続の障壁がないか確認します。
- C. データベースサーバーのハードウェアをアップグレードして接続処理能力を向上させる
- D. データベースサーバーを、より安定した接続が可能な別のプラットフォームに変更する

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server ノードとデータベース サーバー間のネットワーク構成とファイアウォールに、接続の障壁がないか確認する マルチノード Tableau Server 環境で断続的なデータベース接続の問題をトラブルシューティングする最初の手順は、ネットワーク構成とファイアウォールの設定を確認することです。これには、Tableau Server ノードとデータベース サーバー間の接続をブロックまたは中断する可能性のあるネットワークの障壁や構成ミスがないことを確認することが含まれます。オプション A は不正解です。ワーカー ノー

ドの数を増やすだけでは、根本的なネットワーク接続の問題に対処できない可能性があります。オプション C は不正解です。データベース サーバーのハードウェアをアップグレードしても、ネットワーク接続の問題は直接解決されません。オプション D は不正解です。データベース プラットフォームの変更は思い切った手段であり、ネットワーク関連の問題を除外した後にのみ検討する必要があります。

最新問題: 58

Tableau Server 展開の特定のノードでバックグラウンダー プロセスを構成する場合、バックグラウンダー ノードの最適なパフォーマンスを確保するために何を考慮する必要がありますか？

- A. バックグラウンダーノードは他のノードよりも高速なネットワーク接続を持つ必要があります
- B. ノードは、デプロイメント内の他のノードと比較して、より多くの処理能力とメモリを備えている必要があります。
- C. バックグラウンダーノードは、プライマリサーバーとは地理的に異なる場所に配置する必要があります。
- D. 互換性のため、ノードは他のノードとは異なるオペレーティングシステムで実行する必要があります。

Answer: B (メッセージを残す)

ノードは、デプロイメント内の他のノードと比較して、より多くの処理能力とメモリを備えている必要があります。最適なパフォーマンスを得るには、バックグラウンダー プロセス専用のノードに、より多くの処理能力とメモリを備えている必要があります。これは、データ抽出、サブスクリプション タスク、複雑な計算などのバックグラウンダー タスクがリソースを大量に消費し、追加の計算リソースからメリットを得られるためです。オプション A は不正解です。高速ネットワーク接続は有益ですが、処理能力とメモリへの依存度が高いバックグラウンダー ノードの場合、それは主な考慮事項ではありません。オプション C は不正解です。バックグラウンダー ノードの地理的な場所は、そのハードウェア機能ほど重要ではないからです。オプション D は不正解です。異なるオペレーティングシステムを実行しても、バックグラウンダー ノードのパフォーマンスは本質的には向上せず、互換性の問題が発生する可能性があります。

最新問題: 59

多数のユーザー同時実行と広範なデータ分析ニーズを持つ大企業が Tableau Server を構成しています。このシナリオに最も適したプロセス数の構成は何ですか？

- A. サーバーの負荷を軽減するために、バックグラウンダーと VizQL プロセスを最小限の数に設定する
- B. データサーバープロセス数を最大化し、他のプロセスを最小限に抑える
- C. ユーザーの同時実行性とデータ分析のニーズをサポートするために、VizQL、データサーバー、バックグラウンダー プロセスの数をバランスさせる
- D. バックグラウンダープロセスの数を増やすことだけに焦点を当てる

Answer: C (メッセージを残す)

VizQL、データ サーバー、およびバックグラウンダー プロセスの数のバランスをとって、ユーザーの同時実行性とデータ分析のニーズに対応します。VizQL、データ サーバー、およびバックグラウンダー プロセスのバランスの取れた構成により、高いユーザーの同時実行性とデータ処理需要を効率的に処理し、パフォーマンスと応答性を最適化できます。オプション A は不正解です。最小限の構成では、高いユーザー需要によりパフォーマンスのボトルネックが発生する可能性があるためです。オプション B は不正解です。データ サーバー プロセスのみに焦点を当てると、視覚化とバックグラウンド タスクのニーズが無視されるためです。オプション D は不正解です。バックグラウンダー プロセスのみに焦点を当てると、ユーザー操作とデータ クエリのニーズが無視されるためです。

最新問題: 60

大規模な組織では、複数の Tableau Server インスタンスを 1 つのサーバーに統合することを計画しています。統合を成功させるために最も重要な考慮事項は何ですか？

- A. 移行期間を最小限に抑えるためにすべてのサーバーを同時に統合する
- B. 各サーバーのデータソース、ユーザー権限、コンテンツの統合を徹底的に計画する
- C. 統合によるユーザーへの影響ではなく、技術的な側面のみに焦点を当てている
- D. 統合プロセスを開始する前に、他のすべてのサーバーを直ちに廃止する

Answer: B (メッセージを残す)

各サーバーのデータ ソース、ユーザー権限、コンテンツの統合を徹底的に計画する データソース、ユーザー権限、コンテンツの統合方法を慎重に計画することは、すべての要素が新しい統合サーバー内で一貫して機能し、ユーザーや業務運営の中断を最小限に抑えるために不可欠です。

オプション A は不正解です。すべてのサーバーを同時に統合すると負担が大きくなり、重大な問題が発生する可能性があります。オプション C は不正解です。ユーザーへの影響を無視すると、アクセスの問題や不満が生じる可能性があります。オプション D は不正解です。統合前に他のサーバーを廃止すると、進行中の運用やデータへのアクセスが中断される可能性があります。

最新問題: 61

ある企業は Tableau Cloud に移行していますが、オンプレミスのデータベースにはまだ重要なデータが残っており、リアルタイムでアクセスする必要があります。これらのデータソースを Tableau Cloud と統合するための最適なソリューションは何でしょうか。

- A. Tableau Builder を活用してリアルタイムのデータ統合を実現する
- B. Tableau Bridge を実装してオンプレミス データベースへのライブ接続を確立する
- C. Tableau Cloud を使用する前に、オンプレミスのすべてのデータをクラウドに移行します。
- D. オンプレミスのデータ統合には Tableau Cloud のネイティブ機能のみを利用する

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Bridge を実装して、オンプレミス データベースへのライブ接続を確立します。Tableau Bridge は、Tableau Cloud からオンプレミス データへのリアルタイムアクセスを可能にするために特別に設計されており、このシナリオに最適なソリューションです。オプション A は不正解です。Tableau Prep Builder はデータの準備に使用され、オンプレミス データ ソースへのライブ接続を確立するために使用されるわけではないためです。オプション C は不正解です。すべてのデータをクラウドに移行することは、すべての企業にとって実現可能または望ましいとは限らないためです。オプション D は不正解です。Tableau Cloud のネイティブ機能には、Tableau Bridge を使用せずにオンプレミス データベースに直接ライブ データ接続する機能は含まれていないためです。

有効な **TCA-C01** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい TCA-C01 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **TCA-C01** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com TCA-C01 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com TCA-C01 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/Tableau/TCA-C01-mondaishu.html> (20230%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 62

Tableau Server 環境でオペレーティング システムとハードウェア関連のメトリクスを収集および分析してパフォーマンスを向上させるには、どのような戦略が推奨されますか？

- A. ハードウェアとオペレーティングシステムのメトリクスについては、Tableau Server の内部監視ツールのみに依存します。
- B. CPU使用率、メモリ、ディスク容量、ネットワークアクティビティなどの指標を追跡する包括的なシステム監視ツールを活用する
- C. Tableau Server のパフォーマンスに最も影響を与えるネットワーク アクティビティの追跡にのみ焦点を当てます。
- D. 傾向分析のために毎週末にシステムメトリックを手動で記録する

Answer: ([解答を表示する](#))

CPU 使用率、メモリ、ディスク容量、ネットワーク アクティビティなどのメトリクスを追跡する包括的なシステム監視ツールの利用 Tableau Server 環境でパフォーマンスを向上させるための推奨戦略は、包括的なシステム監視ツールを使用することです。このツールは、CPU 使用率、メモリ使用率、ディスク容量、ネットワーク アクティビティなどのさまざまな主要メトリクスを追跡する必要があります。これらのメトリクスは、ハードウェアとオペレーティング システムの健全性とパフォーマンスに関する貴重な洞察を提供し、潜在的なボトルネックをタイムリーに特定して解決できるようにします。オプション A は不正解です。Tableau Server の内部監視ツールのみに頼ると、オペレーティング システムとハードウェア関連のメトリクスに関する完全な洞察が得られない可能性があります。

オプション C は不正解です。ネットワーク アクティビティのみに焦点を当てると、パフォーマンスに影響する他の重要なシステム メトリックが見落とされてしまいます。オプション D は不正解です。システム メトリックを毎週手動で記録するのは非効率的であり、プロアクティブなパフォーマンス管理に不可欠なリアルタイムの洞察が得られません。

最新問題: 63

大規模な Tableau Server 展開で最適なパフォーマンスを確保するためのログ分析戦略を設定するためのベスト プラクティスは何ですか？

- A. 重大な問題を優先するために、ユーザーから報告された問題に応じてのみログを分析する戦略を実装します。
- B. 大量のデータを処理できるツールを使用して、異常を警告する自動ログ集計と分析を設定します。
- C. サーバーのパフォーマンスに影響を与えないように、スケジュールされたメンテナンス期間中にのみログを分析します。
- D. データソースや視覚化などのサーバーコンポーネントに基づいて、ログ分析タスクをさまざまなチームメンバーに委任します。

Answer: B (メッセージを残す)

大量のデータを処理し、異常に対するアラートを生成できるツールを使用して、自動ログ集計および分析を設定します。大規模な Tableau Server 導入の場合、ベスト プラクティスは、大量のログ データを処理できるツールを使用して、自動ログ集計および分析を設定することです。異常検出およびアラート メカニズムを備えた自動システムは、潜在的な問題を効率的に特定できるため、管理者はパフォーマンスのボトルネックに積極的に対処できます。オプション A は不正解です。ユーザーから報告された問題に応じてログを分析するだけでは、根本的な問題の特定と解決が遅れる可能性があります。オプション C は不正解です。メンテナンス期間中にのみログを分析すると、継続的な監視と新たな問題への迅速な対応の機会を逃すこととなります。オプション D は不正解です。委任は戦略の一部になり得ますが、サーバー導入全体にわたる自動で包括的なログ分析の必要性に取って代わるものではありません。

最新問題: 64

ある多国籍企業が Tableau Cloud を導入しており、さまざまなデータ プライバシー規制に準拠しながら、さまざまな地域にわたるユーザー アクセスを安全に管理する方法を必要としています。最も適切な認証戦略は何ですか？

- A. すべてのユーザーが単一のログインを共有してユニバーサルアクセスを実現
- B. ユーザーグループごとに地域固有のローカル認証
- C. 地域のデータプライバシー法に準拠した集中型ID管理システムとの統合
- D. ユーザーセッションごとにランダムにパスワードを生成する

Answer: C (メッセージを残す)

地域のデータプライバシー法に準拠した集中型 ID 管理システムとの統合 この戦略では、さまざまなデータプライバシー規制を満たすように設計された集中型システムを活用し

て、さまざまな地域にわたる安全で準拠したユーザーアクセス管理を保証します。オプション A は、単一の共有ログインではセキュリティが不十分で、地域のデータプライバシー法に準拠していないため、正しくありません。オプション B は、地域固有のローカル認証によって、断片化された一貫性のないアクセス制御が発生する可能性があるため、正しくありません。オプション D は、セッションごとにランダムにパスワードを生成する方法は安全ですが、実用的ではなく、ユーザーフレンドリーではないため、正しくありません。

最新問題: 65

Tableau Server の展開を構成する際に、特定のノードにバックグラウンド プロセスを割り当てることにします。

バックグラウンド プロセスにノードを専用にする主な理由は何ですか？

- A. バックグラウンド タスクで処理される機密データのセキュリティを強化する
- B. リソースを大量に消費するタスクをユーザー操作から分離することでパフォーマンスを向上させる
- C. バックグラウンド ノードからデータベースサーバーへの直接アクセスを許可する
- D. 他のサービスに影響を与えずにバックグラウンド プロセスのメンテナンスと更新を容易にするため

Answer: ([解答を表示する](#))

リソースを大量に消費するタスクをユーザー向けの操作から分離してパフォーマンスを向上する Tableau Server でノードをバックグラウンド プロセス専用にするのは、主に、データ抽出やサブスクリプション タスクなどのリソースを大量に消費するタスクをユーザー向けの操作から分離するためです。この分離により、システム リソースに対するバックグラウンドの要求がユーザー インターフェイスの応答性や効率性に影響を及ぼさないようにし、その逆も確実にすることで、パフォーマンスを最適化できます。オプション A は不正解です。セキュリティは重要ですが、バックグラウンド プロセスにノードを専用にする主な理由ではありません。オプション C は不正解です。バックグラウンド ノードからの直接データベース アクセスは、この構成決定の主な要因ではありません。オプション D は不正解です。メンテナンスが容易になることは利点ですが、特定のノードでバックグラウンド プロセスを分離する主な理由ではありません。

最新問題: 66

Tableau コンテンツをあるサーバーから別のサーバーに移行するためのスクリプトを作成するときに重点を置くべきことは何ですか？

- A. セキュリティを確保するために特定の環境でのみ動作するスクリプトを設計する
- B. 柔軟性があり、さまざまなサーバー構成やコンテンツタイプに対応できるスクリプトの開発
- C. 移行プロセスにおいて、正確さよりも速度を優先するスクリプトの作成
- D. 制御を強化するために各ステップで手動介入を必要とするスクリプトを作成する

Answer: B ([メッセージを残す](#))

柔軟性があり、さまざまなサーバー構成やコンテンツ タイプを処理できるスクリプトの開発 スクリプトの柔軟性は、さまざまなサーバー構成やさまざまなコンテンツ タイプに対応し、さまざまな環境間でスムーズでエラーのない移行を実現するために不可欠です。オプション A は不正解です。スクリプトは特定の環境に限定されるのではなく、さまざまな環境に適応できる必要があります。オプション C は不正解です。データの損失や破損を防ぐために、移行プロセスでは正確さが最も重要です。オプション D は不正解です。スクリプトの目的は手動介入を増やすことではなく減らすことです。

最新問題: 67

コマンドライン インターフェイス (CLI) を使用して Windows システムに Tableau Server をインストールするプロセスで、インストールがスムーズに進むようにするために重要な考慮事項は何ですか？

- A. Windows システムでユーザー アカウント制御 (UAC) を一時的に無効にする
- B. すべてのコマンドラインインストールコマンドが昇格された (管理者) 権限実行されるようにする
- C. Tableau Server のインストール専用の新しい Windows ユーザー アカウントを作成する
- D. Windows システムに必要なすべてのデータベース ドライバーを事前にインストールする

Answer: B (メッセージを残す)

すべてのコマンドラインインストール コマンドが昇格された (管理者) 権限で実行されるようにする CLI を使用して Tableau Server を Windows にスムーズにインストールするには、すべてのインストール コマンドが昇格された (管理者) 権限で実行されるようにすることが重要です。管理者権限でコマンドを実行すると、インストーラーがシステム リソースに十分にアクセスでき、Tableau Server をインストールして構成する権限があることが保証されます。オプション A は、UAC を完全に無効にすることは推奨されておらず、システムをセキュリティ リスクにさらす可能性があるため、正しくありません。オプション C は、インストール専用の新しい Windows ユーザー アカウントを作成することは、Tableau Server をインストールするための標準要件ではないため、正しくありません。オプション D は、データベース ドライバーの事前インストールは接続には重要ですが、Tableau Server のインストール プロセスの直接的な部分ではないため、正しくありません。

最新問題: 68

多数の同時 Tableau ユーザーと複雑なデータ セットを持つ企業が Tableau Server を導入する予定です。このシナリオに最も適したノード数の構成は何ですか？

- A. 単一ノードを構成してすべてのプロセスを一元化し、管理を簡素化する
- B. バックグラウンドタスク用とユーザーインタラクション用の 2 つのノード構成を設定する
- C. VizQL、バックグラウンダー、データサーバープロセス専用のノードを使用したマルチノード構成の実装

D. 特定の要求や使用パターンに関係なく、4ノード構成を使用する

Answer: C (メッセージを残す)

VizQL、バックグラウンダー、およびデータ サーバー プロセス専用のノードを使用してマルチノード構成を実装します。マルチノード構成により、さまざまなプロセスをノード間で効率的に分散できるため、多数のユーザーと複雑なデータ セットのパフォーマンスとスケーラビリティが向上します。オプション A は不正解です。単一のノードでは、多数の同時ユーザーの負荷を効果的に処理できない可能性があります。

オプション B は、大規模な展開のニーズを単純化しすぎて、パフォーマンスのボトルネックを引き起こす可能性があるため、正しくありません。オプション D は、ノード数は任意の数ではなく、特定の需要に基づき必要があるため、正しくありません。

最新問題: 69

Tableau Server にデータベース暗号化を実装する場合、保存中の機密データを保護するために不可欠な手順はどれですか？

A. Tableau Server とそのデータベース間で転送されるすべてのデータに対して SSL 暗号化を有効にする

B. Tableau Server で使用されるデータベースでの透過的データ暗号化 (TDE) の構成

C. Tableau Server データをホストするデータベース サーバーを保護するための専用ファイアウォールの設定

D. Tableau Server で使用されるデータベース ユーザーのパスワードを定期的に変更する

Answer: B (メッセージを残す)

Tableau Server が使用するデータベースで透過的データ暗号化 (TDE) を構成する Tableau Server が使用するデータベースで透過的データ暗号化 (TDE) を構成することは、保存データの暗号化に不可欠です。TDE により、データベースに保存されているデータが暗号化され、特に物理ストレージメディアが侵害された場合に、不正アクセスや侵害から保護されます。オプション A は不正解です。SSL 暗号化は転送中のデータを保護し、データベースに保存されているデータは暗号化しません。オプション C は不正解です。ファイアウォールはネットワーク セキュリティにとって重要ですが、データベースに保存されているデータは暗号化しないからです。オプション D は不正解です。パスワードを定期的に変更することは、セキュリティ上の優れた方法ですが、データベースに保存されているデータの暗号化とは直接関係しません。

最新問題: 70

Linux システムに Tableau Server をインストール中に、権限の問題を示すエラーメッセージが表示されて失敗しました。この問題を解決するために最初に実行すべき手順は何ですか？

A. Tableau Server のクリーンな環境を確保するために Linux オペレーティング システムを再インストールする

B. Tableau Server がインストールされているファイルとディレクトリの権限の確認と変更

- C. Linuxサーバーに割り当てられたRAMとCPUリソースを増やす
- D. Linux サーバーを別のファイルシステムを使用するように構成する

Answer: ([解答を表示する](#))

Tableau Server がインストールされているファイルとディレクトリの権限の確認と変更
Linux への Tableau Server のインストール中に権限の問題が発生した場合、最も重要な最初の手順は、Tableau Server がインストールされているファイルとディレクトリの権限を確認して変更することです。

権限の問題は Linux 環境ではよくあることであり、Tableau Server インストール ディレクトリに適切な権限があることを確認することは、インストールを正常に行うために不可欠です。オプション A は、Linux オペレーティング システムを再インストールすることは権限の問題を解決するには過剰な手段であるため、正しくありません。オプション C は、ハードウェア リソースを増やしても権限関連のインストール エラーに対処できないため、正しくありません。オプション D は、ファイル システムの変更は権限の問題とは無関係であり、Tableau Server のインストールの問題に対する標準的なトラブルシューティング手順ではないため、正しくありません。

最新問題: 71

Tableau Server からの観測可能性データを分析した結果、特定のダッシュボードの応答時間が他のダッシュボードよりも一貫して長いことがわかりました。この発見に対して最初にどう対応すべきでしょうか？

- A. 複雑さを簡素化するために、すべての低速ダッシュボードを再設計することを推奨します。
- B. 特定のダッシュボードを調べて、非効率的な計算、複雑なクエリ、または大きなデータソースがないかどうかを確認します。
- C. Tableau Server へのメモリ割り当てを増やしてダッシュボードの応答時間を改善する
- D. ピーク時間帯にダッシュボードを使用しないようにユーザーにアドバイスする

Answer: B ([メッセージを残す](#))

特定のダッシュボードを調べて、非効率的な計算、複雑なクエリ、または大規模なデータソースがないか確認する 特定のダッシュボードで応答時間が一貫して長い場合、最初の対応として、これらの特定のダッシュボードを調べて、非効率的な計算、過度に複雑なクエリ、または大規模なデータ ソースの使用などの潜在的な問題がないか確認する必要があります。これらの側面に対処すると、ダッシュボードのパフォーマンスが大幅に向上する可能性があります。オプション A は不正解です。ダッシュボードを詳細に分析して特定の非効率性を特定した後にのみ、完全な再設計を検討する必要があります。オプション C は不正解です。メモリ割り当てを増やすことは、ダッシュボードの設計と構成に関連する特定の問題に対処できない可能性があるより広範なアプローチであるためです。オプション D は不正解です。特定のダッシュボードを使用しないようにユーザーにアドバイスしても、根本的なパフォーマンスの問題が解決されないためです。

最新問題: 72

大規模な Tableau Server 展開の場合、最適なパフォーマンスを維持するためにサーバープロセス メトリックを収集および分析するための最も効果的な戦略は何ですか？

- A. ピーク時のCPUとメモリの使用状況の分析のみに焦点を当てる
- B. CPU、メモリ、ディスクI/O、ネットワークアクティビティなど、さまざまなメトリックをさまざまな時間にわたって追跡する包括的な監視ツールを実装する
- C. 毎日の終わりにサーバーのパフォーマンス メトリックを手動でチェックする
- D. ユーザーのフィードバックに基づいて、特定のサーバープロセスメトリックをいくつかチェックするかを決定します。

Answer: B (メッセージを残す)

CPU、メモリ、ディスク I/O、ネットワーク アクティビティなど、さまざまなメトリックをさまざまな時間帯にわたって追跡する包括的な監視ツールを実装する 大規模な Tableau Server 導入環境を効果的に保守するには、CPU 使用率、メモリ、ディスク I/O、ネットワーク アクティビティなど、さまざまなプロセス メトリックを追跡する包括的な監視ツールを使用するのが最善の戦略です。このアプローチにより、サーバーのパフォーマンスを総合的に把握し、さまざまな領域のボトルネックを特定して、より効果的なチューニングと最適化を行うことができます。オプション A は不正解です。ピーク時の CPU とメモリの使用率だけに焦点を当てると、他の重要なメトリックやピーク時以外のパフォーマンスの問題を見落とす可能性があります。オプション C は不正解です。メトリックを毎日手動で確認するのは非効率的であり、パフォーマンスの問題に関するリアルタイムの洞察が得られない可能性があります。

オプション D は不正解です。サーバー プロセスの監視にユーザー フィードバックのみに依存するのは事後対応的であり、根本的な問題の特定が遅れる可能性があるからです。

最新問題: 73

Tableau Server の負荷テスト戦略を開発する際に、包括的なテストを確実に行うために考慮すべき重要な側面は何ですか？

- A. 負荷がかかった状態でのパフォーマンスを確認するために、使用率の高い単一のダッシュボードを使用してサーバーをテストします。
- B. ダッシュボードの表示、ワークブックの公開、抽出の更新など、さまざまなユーザーアクティビティをシミュレートします。
- C. データソースの接続速度のみをテストして、サーバー全体のパフォーマンスを判断します。
- D. 管理ユーザーのみでテストを実行し、特権アクティビティに対するサーバーの応答を評価する

Answer: B (メッセージを残す)

ダッシュボードの表示、ワークブックのパブリッシュ、抽出の更新など、さまざまなユーザー アクティビティのシミュレーション Tableau Server の包括的な負荷テスト戦略には、さまざまなユーザー アクティビティのシミュレーションを含める必要があります。これには、ダッシュボードの表示、ワークブックのパブリッシュ、抽出の更新などのタスクが

含まれます。このアプローチにより、さまざまな種類の要求とユーザー操作にわたってサーバーのパフォーマンスを徹底的に評価し、その機能と制限をより現実的に評価できます。オプション A は不正解です。単一のダッシュボードのみでテストすると、ユーザーがサーバー上で実行するさまざまなアクティビティが考慮されません。オプション C は不正解です。データソースの接続速度のみに焦点を当てると、サーバーのパフォーマンスの他の重要な側面が無視されます。オプション D は不正解です。管理ユーザーのみでテストを実行すると、通常の動作条件下でのサーバーのパフォーマンスを理解するために不可欠な、一般ユーザーの一般的なアクティビティが再現されないためです。

Valid TCA-C01 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing TCA-C01 Exam! GoShiken.com now offer the **newest TCA-C01 exam dumps**, the GoShiken.com TCA-C01 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com TCA-C01 dumps with Test Engine here:
<https://www.goshiken.com/Tableau/TCA-C01-mondaishu.html> (202 Q&As Dumps, **30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)